平成30年度 年縞研究展示施設(版)開館記念

水月湖年縞 国際シンポジウム

- 奇跡の湖 世界へ発信 -

□ 時 平成29年**9月17日** □ 13:30~16:00

会場 福井県国際交流会館 多目的ホール



ごあいさつ 13:30~

基調講演 13:40~

「水月湖年縞の発見・研究」

ふじのくに地球環境史ミュージアム館長 安田 喜憲氏

記念講演 14:10~

「水月湖年縞の世界的価値」

オックスフォード大学准教授 ヴィクトリア・スミス氏 オックスフォード大学研究員 ポール・アルバート氏

パネルディスカッション 15:00~

「年縞の保全と活用」

福井県文化顧問

ふじのくに地球環境史ミュージアム館長 安田 喜憲氏 山根 一眞氏 立命館大学古気候学研究センター長・教授 中川 毅氏 東京学芸大学名誉教授 小泉 武栄氏 福井県里山里海湖研究所主任研究員 北川 淳子氏

オックスフォード大学准教授 ヴィクトリア・スミス氏 オックスフォード大学研究員 ポール・アルバート氏





講演者紹介



安田 喜憲(やすだよしのり)氏

1946年三重県生まれ。ふじのくに地球環境史ミュージアム館長、立命館大学環太平洋文明研究センター長。アジアではじめて年縞を発見し、花粉の化石を使用して過去の森林の変遷を年単位で高精度に復元できる道を開拓。著書は『森の日本文明史』(古今書院)など多数。スウェーデン王立アカデミー会員。2007年11月紫綬褒章受章。



中川 毅(なかがわたけし)氏

1968年東京都生まれ。立命館大学古気候学研究センター長。2006年夏、水月湖の掘削を実施、完全に連続した年編堆積物試料の採取に成功。2013年、その分析結果が、世界標準年代目盛りであるIntCal13に採用される。同年に大和日英基金の「大和エイドリアン賞」を受賞。2017年、「人類と気候の10万年史」で講談社科学出版賞を受賞。



小泉 武栄(こいずみたけえい)氏

1948年長野県生まれ。東京学芸大学名誉教授。生き物のくらす舞台である土地の地質や地形、気候、歴史などを総合的にとらえる独特の視点で自然を研究、自然を見る楽しさの普及に力を入れている。著書に『日本の山はなぜ美しい』(古今書院)、『自然を読み解く山歩き』(JTBパブリッシング)、『日本の山と高山植物』(平凡社新書)など多数。



ヴィクトリア・スミス氏

火山学、火成岩学の専門家。英国オックスフォード大学准教授、考古歴史学研究室研究リーダー。2005年、地質学で博士号を取得。水月湖2006プロジェクトメンバー。英国自然環境調査協議会のプロジェクト「急激な環境変動への人類の応答」に参加。現在、日本とイタリアの火山噴火と地磁気変動に関する研究に傾注している。



水月湖は、三方五湖の中で最も大きな湖です(面積4.15km、水深34m)。ここで、1993年、2006年、2012年に学術ボーリング調査が行われ、湖底から堆積物の採取に成功しました。この堆積物には、「年編」と呼ばれる編模様が形成されています。2006年の調査では約50m(7万年分)の年編が採取されました。

年稿には、昔の湖周辺の様子や気候、地震などが記録されています。1年に1枚の縞模様が形成されることから、縞を数えれば、その年代を特定することができます。また、年縞に含まれる葉の化石などを分析することで、世界中で発見された出土品などの年代決定にも用いられます。2012年7月に行われた国際会議では地質学的な時間スケールとして水月湖の年縞を使うことが決まりました。水月湖の年縞が世界の標準時計となったのです。

水月湖の湖底には、春から秋にかけては 土やプランクトンの死がいなどの有機物、 晩秋から冬にかけては湖水から析出した 鉄分や大陸の黄砂などの鉱物質が堆積し ます。有機物を多く含む層は暗い色に、鉱 物質を多く含む層は明るい色となり、色の 暗い層と明るい層の1対が1年をかけ縞 模様となっていきます。水月湖の年縞堆 積物は、1年で平均0.7mmの薄さで、7万 年にわたり堆積してできたものです。





黄砂や鉄分など	晩秋から冬
	黄砂や鉄分など
1年分	1年分

申し込み方法

申し込み締切/平成29年9月11日(月)

申し込みは下記参加申込書に必要事項を記入の上、FAXしていただくか、同様の内容をEメール、電話にてご連絡ください。

FAX 0770-45-3680 EX-IN satoyama@pref.fukui.lg.jp TEL 0770-45-3580

参加申込書 水月湖年縞 国際シンポジウム(9/17)

氏 名		人数
住 所		
	TEL	
所属等 (団体の場合)		

※お届けいただく個人情報は、今回のシンポジウムのみに使用し、他の目的で使用いたしません。